

岐阜県ナンバー1の 防災屋さんを目指して!

2010.7.15訪問



青年部員の
事業所に行つた
聞いてきた
第九回 三田防災さん

今回、訪問させていただいたのは、生命と財産を火災から守るため日々努力されている株式会社三田防災さんです。

(文・安藤博之)



のぶお社長

訪問してみても、消防設備や警報設備を販売している会社はどこにでもあるように思っていました。が、地元には防災屋さんがいる地域は少なく、当然その地域では火災が少ない事が分かりました。

三田防災は昭和45年創業。
消火器をはじめ消火設備・警報設備・避難誘導設備・防災用品・防犯設備の販売・メンテナンスをはじめ防災ロボットの開発を行っています。



「プロのシミュレーションを教えるのをうれいと思つてはいますか?」

生まれ育った笠松で皆さんの生命・財産を火災から未然に防ぐお手伝いをしていくこと。当然、家族揃って仕事に励む喜びも感じています。シミュレーションは?

いつ何時発生するか分からない防災というお仕事であり、24時間体制でサポートをさせていただいているため、休日がない事。

仕事を通じて学んだことは?

人と人との信頼関係を育てていくこと。常に10年先をイメージすること。

お客さんごとの一番思いは?

仕事を通じてお知り合いになった人と、旅行やゴルフなど、仕事を超えた長いお付き合いが出来るようになったこと。

聞いてなっとク ココだけの話

仕事で工夫している点?

地元のみなさんに安心して生活していただくため、火災予防に日夜努めています。警備会社と代理店契約を結び、一報があればすぐ駆けつけることのできる体制ができています。

平均年齢30歳という若い社員で構成された会社なので、社員の仕事の相談はもちろん、プライベートまで充実するように、気配りを忘れないよう心がけています。

近年の業界の事情について

以前は、防火対象物のみの関係が多かったですが、消防法改正により、すべての住宅に火災報知器の設置義務がなされ、個人のお客さんも増えてきました。

また現在問題の消火器については、古くなると錆や傷、変形などとして、暴発の恐れもあります。消火器の本体容器耐用年数は8年です。みなさまの会社・ご自宅の消火器を見直してみたいかがでしょうか。